

令和元年度

区民参画組織 麻布を語る会 第3回麻布地区政策分科会

議 事 要 旨

開催日時	令和元年7月16日(火) 18:30~20:00
開催場所	麻布区民協働スペース
参加者 (敬称略)	【分科会メンバー：22名】 相賀、大竹、岡本、鍵谷、加生、片岡、北野、金原、小島、胡、古平、 佐々木、佐藤、塩谷、高橋、田中、堂園、峯崎、森田、唯是、吉松、和籐 【事務局：4名】 鈴木(協働推進課長)、板橋(地区政策担当係長) 遠藤、上村(協働推進係) 【説明者：4名】 田代(管理係長)、中村(協働推進係長)、吉田(まちづくり課長)、 川口(保健福祉係長)
概 要	1 開会 2 前回までの振り返りと本日の流れについて 3 グループ討議(各地域事業の課題抽出・共有) 4 全体討議(グループ討議の報告及び意見交換) 5 その他
配付資料	資料1 提言書作成に向けた検討の進め方(案) 資料2 令和元年度 地域事業の推進について 参考資料 検討の進め方及び事業検証について(第2回及び第3回の検討内容)
座 長  事務局	【会議経過】  <b>1 開会</b> 定刻となりましたので、ただいまから、第3回区民参画組織麻布を語る会 麻布地区政策分科会を開催します。本日の終了予定時刻は20時を予定してお ります。この分科会活動に際し、記録のため、写真撮影や録音をさせていただ きます。写真撮影に不都合がございましたら事務局の職員までお声がけく ださい。また、会議中の発言は挙手、指名を原則とし、分科会の議題からそ れた発言など議事進行の妨げとなる場合には、座長権限で発言を制止するこ ともあります。円滑な議事運営にご協力をお願いします。 それでは、会に先立ちまして、事務局からメンバーの皆さんへご説明した いことがあるそうですので、お願いします。 この度、メンバー同士のメールアドレスが読み取れる形で31名の皆様にメ ールを送信した件についてご説明します。 経緯としましては、7月3日の午後に、本日の分科会の開催通知をメール で送信しました。翌日、このメールは、本来であればBCCで送信しなければなら ないところを、お互いにメールアドレスが見える形で送信してしまった誤 りを発見しました。速やかに区長、副区長、危機管理部門に報告するととも に、皆様にお電話及びメールでお詫びをさせていただきました。 原因としましては、いつも行っている担当者相互の送信内容のチェックを 省いてしまったこと、またメール送信の際は、上司の私が送信前にメール送 信の承認をしなないと送ることができないのですが、そこで最終確認が漏れて しまったことです。再発防止策として、メール送信時の複数のチェックのル

ールを徹底するとともに、最終確認の際はチェック表を作成して漏れのないよう取り組んでまいります。この度は大変ご迷惑をおかけしまして申し訳ございませんでした。

座 長

この件につきましては、私と副座長から事務局に対して嚴重注意をしました。何か異議のある方はこの分科会が終了した後に個別に対応いたします。以後、一層の注意を払い事務を進めていただくようお願いします。

事務局

それでは、前回に引き続き、本日も「分野Ⅰ かがやくまち」「分野Ⅱ にぎわうまち」「分野Ⅲ はぐくむまち」の3グループに分かれてグループ討議を行います。まず、事務局から、本日の配布資料の確認をいたします。  
(配布資料の確認)

## 2 前回までの振り返りと本日の流れについて

座 長  
事務局

前回までの振り返りと本日の流れについて事務局からご説明願います。  
(説明)

- ・資料1 提言書作成に向けた検討の進め方(案)を用いて説明

座 長

グループ討議は、リーダーの方にもご協力いただきまして、流れについて個人で把握していなくても討議に集中していただけるような環境を整備したいと思っておりますのでよろしく申し上げます。それでは、グループ討議に入ります。各グループでの議論終了時間は19時40分を目途に、時間になりましたら、こちらへお集まりください。各グループで出た意見を発表していただいて、全体で情報共有します。

## 3 グループ討議(各地域事業の課題抽出・共有)

「分野Ⅰ かがやくまち」「分野Ⅱ にぎわうまち」「分野Ⅲ はぐくむまち」の3グループに分かれ討議

## 4 全体討議(グループ討議の報告及び意見交換)

座 長  
A委員

各グループの本日の検討結果を、分野Ⅰから順に発表していただきます。  
分野Ⅰは、まず「六本木安心安全プロジェクト」自体が知られていないことが課題に挙がりました。また、「六本木安心安全プロジェクト」では、自転車の放置はやめましょうと呼びかけていますが、自転車が非常に無茶な走り方をしていることも課題として認識し、対応を考えるべきではないでしょうか。また、区全体の取組として「みなとタバコルール」があり、「六本木安全安心憲章」でも路上喫煙の禁止をうたっている。支援部の取組と重複している部分について、どのように推進していくのか、その関係性等を整理していく必要があるという意見もありました。

防災については、年に一回、六本木中学校で総合防災訓練があつて、広報みななどにも載っていますが、知らない方が多く、参加して、体験してみようという方は本当に少ないです。特別なことではなく、参加して色々体験できる。地域のためにはとても大切なことだという周知が大切だと思います。

「みんなでエコっとプロジェクト」ですが、文章、口頭の説明だけではイメージがわからないので、事業を見学に行く、または事業の動画を見せてもらうと分かりやすいと思いました。また、エコに対する取組が、学校教育のカリキュラムにあるのであれば重複した取組を行う必要はないと思います。もし、ないのであれば、まだまだ残っている麻布の自然を活用して、身近なと

ころで自然を体験してもらおうという取組をすれば、もっと負担が少なく実施できるのではないかという意見もありました。

B 委員

分野Ⅱは、「AZABU WORLD FESTA」についてはやるべき課題が多すぎて、うまく話をまとめきれなかったので、きょうは「ミナヨク」の課題と魅力と「麻布未来写真館」の課題と魅力、この2つを中心にご報告をしたいと思います。

まず、「ミナヨク」の課題は参加時間が限定されていることです。土曜日の午後開催ですが、20代から40代の方には厳しい時間帯だと思います。また、1クールのみでの参加、リポートして参加できないという中で、6回のプログラムで良い提案をつくり上げる、次世代のコミュニティリーダーを育成するというは難しいのではないかという意見もありました。また、リーダーを育成するのが目的のひとつに挙げられていますが、修了生がその後どのような活動をしているのか等の情報を区が把握できていないので、しっかり把握する必要があるという意見もありました。

「麻布未来写真館」の課題は、展示されているパネルの説明だけでは分からないことが多いので、ガイドがいると良いと思います。あざぶ達人ラボで写真に精通している方とか、昔の麻布を知っている方がいらっしゃるなら、その方にガイドをしてもらえたら、パネル展の取組がさらに広がると思います。また、テーマやコンセプトを前面に打ち出したパネル展やパネル作成を行うことで、面白味が増すのではないかという意見がありました。また、著名人が撮った写真を展示してはどうかという意見もありました。「あの人が撮ったんだ」とか「この街で育ったんだ」みたいな親近感がわくのではないのでしょうか。また、集客や周知を考えるのであれば、六本木ヒルズなど人が多く集まる場所をパネル展の会場として検討してはどうでしょうか。人が多く集まる場所で、しっかりと集客することによって「麻布未来写真館」の良いところを伝えられるのではないかと考えます。また、SNSでハッシュタグ付きの投稿をする人が多いので、それをうまく活用して、参加型のパネル展等を実施したら楽しいイベントになるのではないかと考えます。インスタ映えスポットやQRコードがあるとよいという意見もありました。

C 委員

分野Ⅲです。まず「地方交流事業」ですが、山形県舟形町と麻布が従来から交流があるのでサマースクールを行っている。児童40人保護者39人で今年も開催されると伺いました。ただ、評価しようにも、区民アンケートの調査対象とこの事業の対象者が合っていないので、この事業の対象者に対してアンケートを行い、しっかりとフィードバックを得ることが必要だと思います。また、サマースクールについては、区が全額負担するものではないので、事業費の内訳をご説明いただいて次回討議したいと考えています。また、以前は、リピーターが多いのではないかと、区外の方が参加しているのではないかと指摘が出ていたようですが、現在は麻布地区での募集、公開抽選を行い、参加者を決定しているので改善されているのではないかと思います。

次に、麻布地区にある4か所のいきいきプラザで開催している「地域サロン～ちょこっと立ち寄りカフェ～」ですが、参加者の約7割がリピーターなので、もっと参加者を増やしていきたいということです。また、参加者の男女比が1：9という状況ですが、男性の参加を増やす工夫をすることで、雰囲気も変わってくるのではないかと話になりました。また、NPO法人が継続的に運営を受託している良い面として、過去の状況等をしっかり把握できている。また、高齢者福祉を意識したNPO法人が受託しているという面

は良いと思う一方で、新しいアイデアが生まれてこないという弊害もあるかと思うので、この分科会で新しいアイデアを提案できたらいいという意見がありました。また、高齢者だけを対象にするのではなく、障害者等も含めた取組、共生やバリアフリーの視点を意識した取組の推進は、この事業で対応できる課題だと思いますので、ぜひ実現させたいと思います。

「麻布の魅力探訪事業～あざぶ達人ラボ～」は、麻布の魅力を探訪するまち歩き等の活動が平日の昼間ですと、若い人はまず参加できない。せっかく良いコンテンツがあるのに、うまく使うことができていないという意見がありました。また、「あざぶ達人ラボ」については、「ミナヨク」と似たようなところがあるので、連携が出来る部分があるのではないかという意見も出ました。また、この事業でつくり上げたアウトプットとして「マップ」等があるが、それが全く生かされていないように思います。例えば、学校の授業で地元の歴史や地域に関する自由研究を行ってみましょうという課題があるので、それと結びつけば麻布の魅力を若いうちから勉強する機会につながっていくのではないかという意見が出ました。

どの事業についても、今後も継続していいと思うが、プラスアルファの提案をしたいという意見もありました。以上です。

座長 皆さん、それぞれの事業の説明を受けるだけでお分かりになりますか。新しい方は特にわからないのではないかと思います。今後、事業を見学する機会や事業の記録映像があればグループごとに見ていただくことを考えております。物理的な問題もありますので事務局と調整します。

副座長 私たちのグループでも、地域事業の見学会や実際に体験したいという話が出ていました。皆さん是非見ていただけたらと思います。

座長 個別に事業を見学したい方は、スケジュールを事務局に聞いて行っていただいてもかまいません。また、全体で共有できるような仕組みも検討していきたいと思います。では、最後に、事務局からの連絡事項等をお伝えします。

## 5 その他

事務局

### ① 次回（第4回分科会）の日時及び内容の確認

- ・ 日時 8月28日（水）18：30から20：00まで
- ・ 場所 麻布地区総合支所2階第3会議室
- ・ 内容：地域事業についての課題確認、事業改善について等

### ② 直近の地域事業等

- ・ 六本木安心安全プロジェクト～ルール違反ゼロの六本木へ～  
7月26日（水）18：00から
- ・ みんなでまちをよくする「ミナヨク」  
参加者募集 8月9日（金）まで
- ・ 麻布未来写真館～次世代へつなぐ麻布の魅力～  
平成30年度の活動報告書の配布

座長

全体を通して、何かご質問等はございますか。なければこれもちまして、第3回麻布地区政策分科会を終了いたします。お忘れ物のないようご注意ください。本日は、お疲れさまでした。

以上